

プラスチック排水板による軟地基の処理は垂直排水固着法に属し、その原理はプラスチック排水板を利用して土層の垂直排水路を増加させ、排水距離を短縮し、地盤の固着を加速させることである。

垂直排水固着法はプラスチック排水板のほか、砂井戸、袋入り砂井戸などがあり、原理は同じである。

一、プラスチック排水板の動作原理

別名プラスチック製排水帯で、波型、ハーモニカ型など多様な形状がある。中間は押出成形されたプラスチック芯板であり、排水帯の骨格と通路であり、その断面は並列十字を呈し、両面は不織布工織物で包まれて濾過層とし、芯帯は支持作用を果たし、濾過層が浸入してきた水を上に排出し、スラッジ、スラッジ、充填土などの飽和粘性及び雑充填土が排水固結法を用いて軟基処理を行う良好な垂直通路であり、軟土固結時間を大幅に短縮する。

プラスチック排水板はプラグで軟地基を挿入し、上部の予圧荷重の作用の下で、軟地基の中空間隙水はプラスチック排水板から上部に敷かれた砂層または水平プラスチック排水管に排出され、他の場所から排出され、軟地の固化を加速させる。軟地基処理におけるプラスチック排水板の作用設計は、施工設備は袋砂井と基本的に同じである。

二、プロセスフロー

平原全体の地面→下層の砂敷き層を敷く→機具を位置に置く→プラスチック排水板を靴に履く→スリーブを挿入する→スリーブを抜く→プラスチック排水板を遮断する→機具を移動する→上層の砂敷き層を敷く。

説明：1、プラスチック排水板の靴を履く目的：プラスチック排水板を挿入す

る時、スラッジがプラスチック排水口を塞ぐことを防止する、

三、プラスチック排水板による軟地基の補強の利点

- 1、プラスチック排水板は濾水性が良く、排水が滞りなく、排水効果が保証されている。
- 2、材料は良好な強度と延性があり、排水性能に影響を与えずに地盤変形能力に適合できる。
- 3、プラスチック排水板の断面寸法が小さく、排水板を施す過程で地盤への外乱が小さい。
- 4、プラスチック排水板は超軟弱地盤に挿板工事を行うことができる。
- 5、プラスチック排水板は施工が速く、工期が短く、1台のプラグマシンは毎日15000 m以上プラグでき、建造費は袋砂井戸より低い。深い軟地基を排水固着法で補強する場合、技術的、経済的に考慮して、排水板を採用することはほとんど唯一の経済的、有効的、実行可能な方法である。

屋上庭園におけるプラスチック排水板の応用

多くの人はベランダや屋上で花を育てたり、草木を植えたりするのが好きで、空気を新鮮にしたり、環境を非常に調和させたり、気持ちを良くしたりすることができます。しかし、ベランダや屋上に直接花を植え、草を植える場合は、排水問題や土の固定問題を考慮する必要がある、これは非常に現実的であり、難しい問題でもある。

良いニュースは自動的に排水板ができてから、排水問題をうまく処理することができて、また植草格などのツールを使って、土を固定させて、草花をもっと健康的に成長させることができて、これはとても良い策略です。

それでは、私たちは実際に使用する過程で、環境保護の問題、あるいは排水板の選択の問題など、多くの問題に注意しなければならない。場所の環境が間違っていると、面倒だ。草花を植えてから、また移動して、草花を壊しやすく、しかも場所が大きいと、この問題をうまく処理するのは容易ではない。排水板は一般的に PE 排水板を選ぶか、プラスチック排水板を直接使うことをお勧めします。そのような悪い材質を使わないでください。そうすれば栽培がもっと悪くなります。

草花を植えるには、それらの体積が大きくなり、栄養需要が大きくなり、しかもいくつかのリスクに耐えられるものを選ぶことを提案します。例えば、風に吹かずに雨にさらされ、暑くて寒いという環境を恐れない、ベランダの環境は、地上よりずっと悪く、そして風が吹くと、彼らを吹き付けるかもしれません。この問題は考慮する必要があります。もちろん、もっと重要なのは、4 級すべて常緑で、少なくとも季節ごとに花が咲いて花が散ることができて、このように 1 年を見せることができて、落ち込むことはできません。

排水板の機能特性及びその応用分野の分類

排水板の主な機能:

導水排水性:

排水防止保護板にはいずれも凹凸式中空立筋構造があり、迅速かつ効果的に雨水を導出することができ、防水層の静水圧を大幅に減少または解消することができ、このような能動導水原理を通じて能動防水の効果を達成することができる。防水性能: ポリエチレン (HDPE) 排水防止保護板材料自体が優れた防水材料である。信頼性の高い接続方式を採用することにより、排水防止板を優れた

補助防水材料にする。

保護保護保護：

排水防止保護板は構築物と防水層を効果的に保護し、土壌中の各種酸塩基と植物の根刺に抵抗することができる。地下室の外壁を盛り土に戻すと、建物や防水層を破壊から守ることができます。

防音及び換気防湿機能：

実験室のデータによると、ポリエチレン（HDPE）排水防止保護板は室内の14デシベル、500 HZの騒音を効果的に低減でき、明らかな騒音低減遮音機能を有する。防水導水板は地面や壁面で使用する際にも、優れた換気防湿作用を果たすことができる。

排水板は円錐突台の上面にろ過土工布を接着し、土微粒子の通過を阻止し、排水路の閉塞を回避して孔排水をスムーズにする。従来の排水方式では、ろ過層としてレンガ瓦を使用し、ろ過層として多くの玉石や碎石を使用し、指定された場所に水を排出する。また、玉石濾水層の代わりに排水板を用いて排水すると、時間がかかり、省力で省エネ、投資を節約し、建物の荷重を下げるができる。

主な分類

工事中によく使われる排水板には、プラスチック排水板、蓄排水板、コイル排水板、防浸水排水板、複合排水板、立体排水板、シート状排水板などがある。

適用#テキヨウ#

緑化工事：車庫天板緑化、屋上花園、垂直緑化、斜め屋上緑化、サッカー場、ゴルフ場。

市政工事：空港、道路路盤、地下鉄、トンネル、ゴミ埋立場。

建築工事：建築物の基礎上層または下層、地下室内外の壁体と底板及び天板、屋根の浸透防止と断熱層など。

水利工事：ダムの浸透防止水、貯水池、人工湖の浸透防止水。

交通工事：道路、鉄道路路盤、堤防、護坂層。